

# 平成30年台風第21号に関する 説明

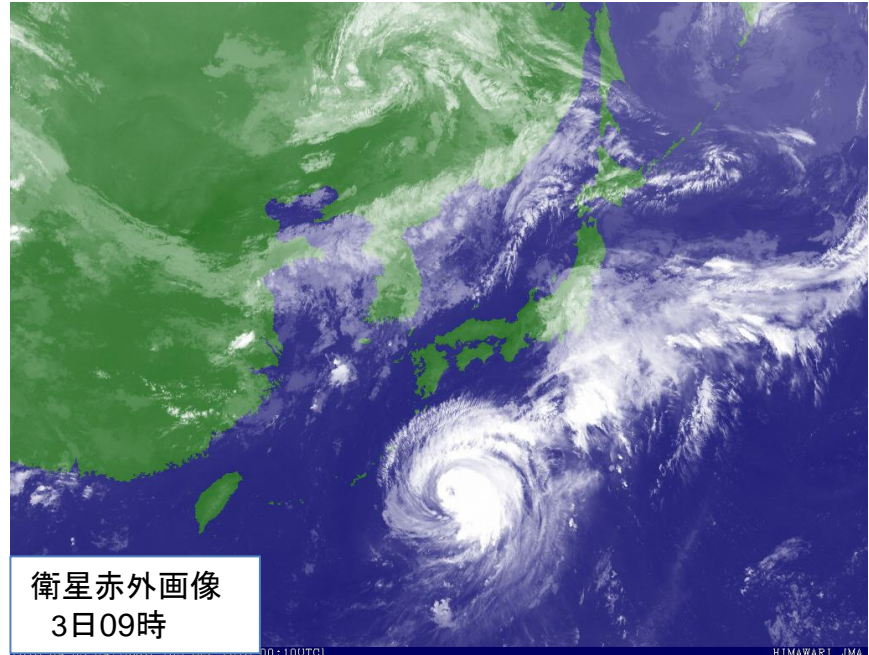
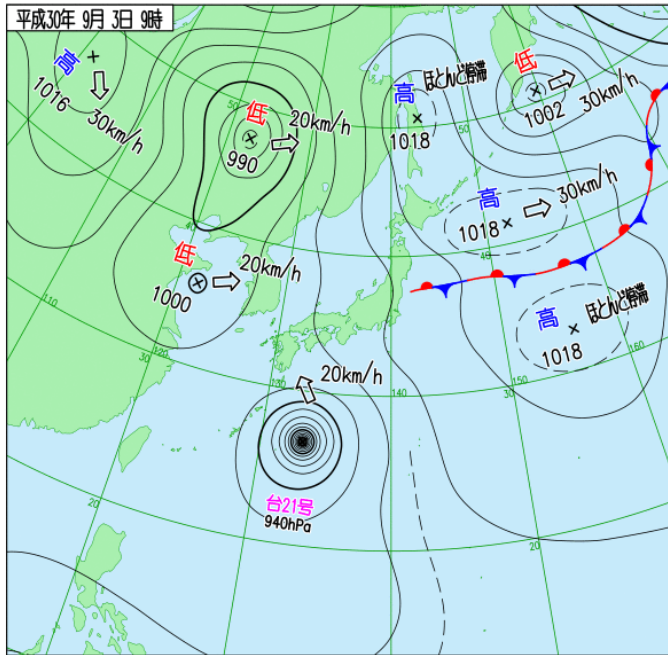
平成30年9月3日  
京都地方気象台

この資料は、9月3日14時開催の説明会  
時点の資料です。その時点の予想に基  
づいて作成したものですので、最新の気  
象情報は、気象台ホームページから確  
認ください。

# 台風第21号の進路と影響のポイント

- ① 台風は前回の台風第20号よりも強い勢力で、**4日 昼過ぎから夕方**にかけて京都府へ**最も接近**するおそれ。
- ② 台風第20号よりも強い勢力で北上するため、台風第20号時より風が強まるおそれ。**暴風に厳重に警戒。**
- ③ 台風接近前後を中心に、府内各地で**猛烈な雨**が降るおそれ。**土砂災害などに厳重に警戒。**
- ④ 台風接近時は、急激に強まる雨風により身動きがとれず、通過後も交通障害等の社会的影響が残る可能性もある。不要不急の活動は避けるとともに、台風が近づくまでの早めの安全確保が重要。

# 3日9時の気圧配置と台風実況



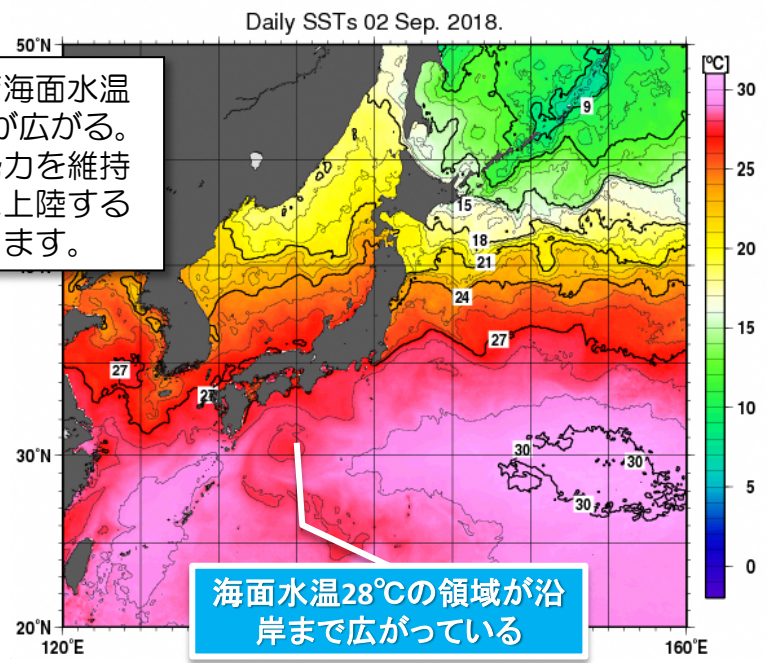
衛星赤外面像  
3日09時

## 台風第21号 (チャービー) 平成30年09月03日09時45分 発表

〈03日09時の実況〉	
大きさ	-
強さ	非常に強い
存在地域	南大東島の東北東約220km
中心位置	北緯 26度35分(26.6度) 東経 133度10分(133.2度)
進行方向、速さ	北北西 20km/h(12kt)
中心気圧	940hPa
中心付近の最大風速	45m/s(90kt)
最大瞬間風速	65m/s(130kt)
25m/s以上の暴風域	東側 170km(90NM) 西側 130km(70NM)
15m/s以上の強風域	東側 440km(240NM) 西側 390km(210NM)

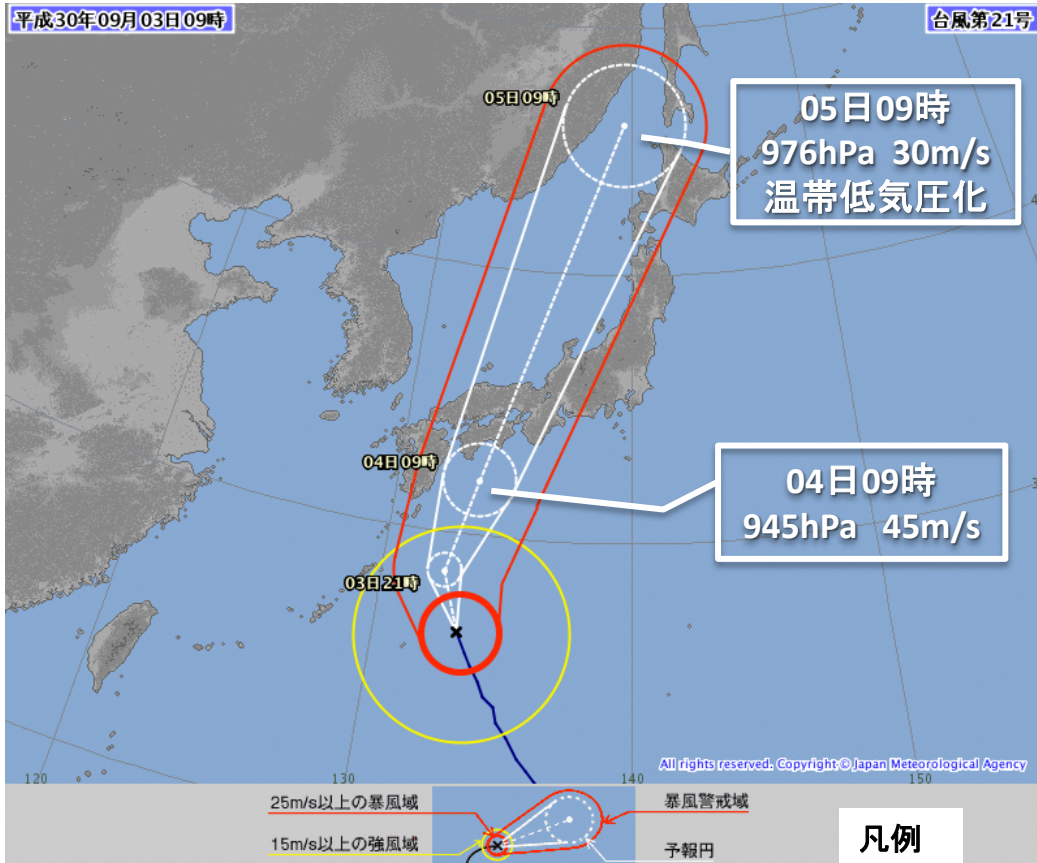
09時現在、非常に強い台風第21号は中心気圧が940hPa、南大東島の東北東を時速20キロの速さで北北西に進んでいる。

本州南岸まで海面水温28℃の領域が広がる。非常に強い勢力を維持して西日本に上陸するおそれがあります。

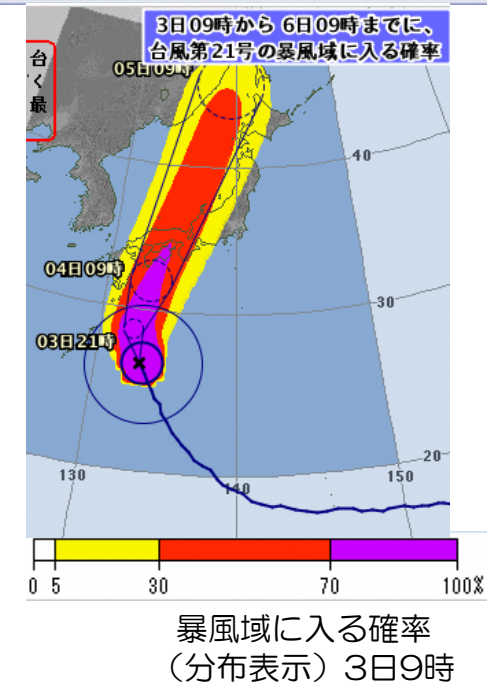


海面水温28℃の領域が沿岸まで広がっている

# 3日9時現在の進路予想



〈04日09時の予報〉	
強さ	非常に強い
存在地域	足摺岬の南南東約90km
予報円の中心	北緯 32度00分(32.0度) 東経 133度25分(133.4度)
進行方向、速さ	北 30km/h(17kt)
中心気圧	945hPa
中心付近の最大風速	45m/s(85kt)
最大瞬間風速	60m/s(120kt)
予報円の半径	150km(80NM)
暴風警戒域	全域 260km(140NM)
〈05日09時の予報〉	
強さ	- 温帯低気圧
存在地域	日本海
予報円の中心	北緯 46度00分(46.0度) 東経 139度30分(139.5度)
進行方向、速さ	北北東 65km/h(35kt)
中心気圧	976hPa
最大風速	30m/s(55kt)
最大瞬間風速	40m/s(80kt)
予報円の半径	280km(150NM)
暴風警戒域	全域 370km(200NM)



・非常に強い台風第21号は、次第に北北東に進路を変えて速度を速めながら北上し、4日午後には非常に強い勢力を維持して四国地方から近畿地方にかなり接近し、上陸する見込みです。京都府には4日昼過ぎから4日夕方に最も接近する見込み。

・現段階では、台風の暴風域に入る見込み。4日午後は猛烈な雨が降り、暴風が吹き大荒れの天気となる見込み。

# 台風第21号による京都府への影響の見通し

京都地方气象台 (9月3日12時現在)

		3日			4日								5日				
		15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
		夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
台風最接近																	
京都府北部	大雨(浸水) (ミリ)							30	80	80	30						
	大雨(土砂)																
	洪水																
	雷																
	暴風	↖ 8	↖ 8	↖ 8	↖ 10	↖ 10	↖ 12	↖ 15	← 20	↖ 30	↗ 25	↗ 15					
	(メートル) 海上	↖ 10	↖ 10	↖ 10	↖ 12	↖ 12	↖ 15	↖ 18	← 25	↖ 35	↗ 30	↗ 18					
	波浪 (メートル)							3	3	3	5	5					
高潮 (メートル)					0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	0.7						
京都府南部	大雨(浸水) (ミリ)							30	80	80	30						
	大雨(土砂)																
	洪水																
	雷																
	暴風 (メートル)	← 8	← 8	← 8	← 10	← 10	← 12	← 15	← 20	↗ 25	↗ 20	↑ 15					

## 舞鶴

年/月/日(曜日)	満潮						干潮							
	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位
2018/09/04(火)	7:47	55	*	*	*	*	1:38	48	15:59	35	*	*	*	*
2018/09/05(水)	8:56	56	*	*	*	*	17:14	33	*	*	*	*	*	*

### 注意 (解説)

- 満潮・干潮の潮位は**標高**(単位:センチ)で表示しています。
- 月の状態が朔(新月)、上弦の月、望(満月)、下弦の月に該当する日には、以下のマークを記載しています。  
 : 朔(新月)   
 : 上弦の月   
 : 望(満月)   
 : 下弦の月
- 該当する満干潮が存在しない場合は、満潮・干潮の欄を「\*」としています。
- 朔(新月)、望(満月)に当たる日の前後数日間、潮位の満潮・干潮の差が大きくなる**大潮**となります。  
上弦の月、下弦の月に当たる日の前後数日間、潮位の満潮・干潮の差が小さくなる**小潮**となります。

注意報、警報の発表のタイミングは、  
注意報級、警報級の現象となる3  
~6時間前です。

# まとめ

京都地方気象台 (9月3日12時現在)

台風第21号は、4日昼過ぎから夕方にかけて、京都府に最も接近する見込み。

## ■雨

4日昼前から激しい雨の降るおそれ。特に4日昼過ぎ～夕方にかけて猛烈な雨の降る可能性がある。

## ■風

台風の接近に伴い4日朝から風が強まり、4日昼過ぎ～夜のはじめ頃にかけて、暴風となる見込み。

## ■波

北部の海上では、4日昼前から波が高くなり、4日夜のはじめ頃からしける見込み。

## ■高潮

4日～5日は注意報級の可能性がある。

## 防災事項

- 4日朝には、暴風警報を、昼前までには大雨・洪水警報を発表する可能性がある。
- 4日午後は、土砂災害警戒情報を発表する可能性がある。
- 高潮、高波、落雷、竜巻などの激しい突風に注意。

最大 24時間 降水量	期間	3日12時～4日12時	
		北部 50ミリ	南部 50ミリ
最大 1時間 降水量	期間	4日12時～5日12時	
		北部 200～300ミリ	南部 200～300ミリ
最大 1時間 降水量	期間	4日	5日
	全域	80ミリ	注意報未滿

最大風速 (最大瞬間風速)	期間		4日	5日
	北部	陸上	30メートル (45メートル)	注意報級
		海上	35メートル (50メートル)	注意報級
	南部		25メートル (35メートル)	注意報級

波(最大)	期間	4日	5日
	海上	5メートル	4メートル

潮位(最大)	期間	4日～5日
	北部	4日は標高90センチ 5日は注意報級

最新の台風情報等に留意してください。  
本資料に関する気象台への問い合わせ先 075-841-3008



# 台風の接近に備えて

- ◆ 気象台が発表する警報・注意報など気象情報に留意するとともに、市町村の避難勧告等に注意してください。
- ◆ 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、暴風、高波、高潮など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、明るいうちに安全な場所に移動するなど、雨や風が強まる前に早め早めの安全確保をお願いします。
- ◆ 屋外での作業や不要な外出は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないようお願いします。
- ◆ 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。



# 「危険度分布」を活用して早めの避難を

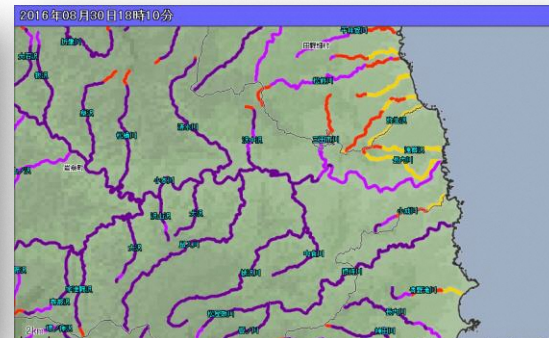
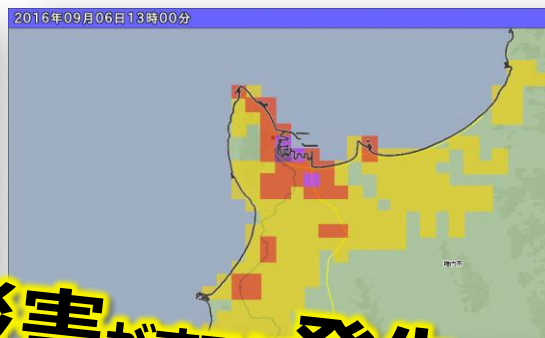
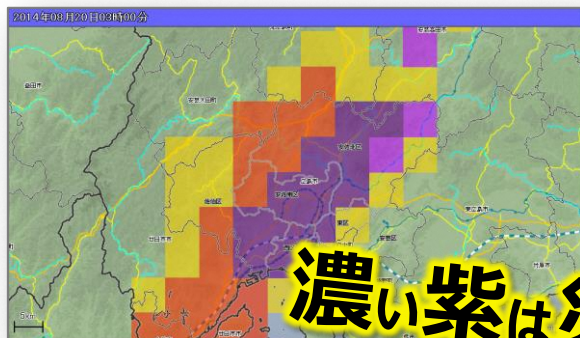
土砂災害警戒  
判定メッシュ情報



大雨警報(浸水害)  
の危険度分布



洪水警報の  
危険度分布



**濃い紫は災害がすでに発生しているもおかしくない**



「危険度分布」の「**濃い紫**」が出現してからでは、重大な災害が**すでに発生**している可能性が高い極めて危険な状況となることから、できる限り早めの避難を心がけ、遅くとも**薄い紫**が出現した段階で、（洪水害については河川水位などの現況も確認した上で）速やかに避難開始の判断をすることが重要です。